

IMT Partnership 部会

目的

IMT Partnership 部会の主な活動内容は次のとおりです。

- パートナーシップ所有者としての 3GPPs の運営
- 部会参加各社の 3GPPs における活動支援
- 日本の法的要求条件の反映等 ARIB として 3GPPs に対応すべき事項の検討、対応
- 3GPPs 仕様の ARIB 標準規格へのダウンストリーム案の作成及びその関連事項

活動体制

第 3 世代移動通信システムである IMT-2000 の仕様作成作業は 3GPP 及び 3GPP2 において行われています。IMT Partnership 部会は以下の 6 つの WG 及び AdHoc で構成されています。

- 3GPP
 - 3GPP-SA 対応 WG
 - TSG (Technical Specification Group)-SA (Service & System Aspects) プレナリ会合および WG 会合を中心とした活動を行う
 - 3GPP-RAN 対応 WG
 - TSG-RAN (Radio Access Networks) プレナリ会合および WG 会合を中心とした活動を行う
 - 3GPP-CT 対応 WG
 - TSG-CT (Core Network & Terminals) プレナリ会合および WG 会合を中心とした活動を行う
 - 3GPP 会合招聘グループ
- 3GPP2 対応 WG
 - 3GPP2 TSGS 会合を中心とした活動を行う
- SIG-OMA
 - OMA についての情報交換等の活動を行う
- M2M 検討 AH
 - マシン to マシン関しての情報交換および他の標準化機関との提携等の活動を行う

活動内容

各対応 WG 及び AdHoc では 3GPPs での審議状況や今後の対応に関する情報交換及び 3GPPs 仕様の ARIB 規格へのダウンストリームを中心に活動を行っています。IMT-2000 関連の ARIB 規格である IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STD-T63 及び ARIB TR-T12 並びに IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STD-T64 及び ARIB TR-T13 については、2000 年 3 月に策定されました。

3GPP 会合招聘グループでは、3GPP の WG 会合の招聘作業を行っています。

2008 年以降、3GPP を推進する SDO として、LTE-Advanced に基づく IMT-Advanced 無線インタフェース技術提案活動を進めています。

リンク

- ARIB STD-T63/TR-T12:[IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA SYSTEM](#)
- ARIB STD-T64/TR-T13:[IMT-2000 MC-CDMA SYSTEM](#)

組織構成

